

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●西村淳也騎手が通算400勝、池添謙一騎手が通算1400勝を達成

1月12日(日)の1回中京4日・第6レースではレーゼドラマが1着となり、同馬に騎乗した西村淳也騎手(栗東・フリー)は、現役42人目となるJRA通算400勝(4744戦目)を達成しました。さらに同日の第10レース・新春Sではヒルノローザンヌが1着となり、同馬に騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、史上26人目・現役11人目となるJRA通算1400勝(1万5029戦目)を達成しました。

●加藤士津八調教師が通算100勝、角田晃一調教師が通算300勝達成

1月11日(土)の1回中山3日・第1レースではエバリンテソーロが1着となり、同馬を管理する加藤士津八調教師(美浦)は、現役147人目となるJRA通算100勝(延べ1481頭目)を達成しました。翌12日(日)の1回中京4日・第3レースではヴェントインコードが1着となり、同馬を管理する角田晃一調教師(栗東)は、現役73人目となるJRA通算300勝(延べ3605頭目)を達成しました。

●ジャスティンミラノ、ドルチェモアらの競走馬登録抹消

2024年皐月賞(G I)などの勝ち馬ジャスティンミラノ(牡3歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算4戦3勝)、2022年朝日杯フューチュリティS(G I)などの勝ち馬ドルチェモア(牡4歳/栗東・高橋一哉厩舎/JRA通算15戦3勝)、2023年JBCレディスクラシック(大井・Jpn I)の勝ち馬アイコンテラー(牝6歳/栗東・河内洋厩舎/JRA通算23戦5勝・地方5戦1勝)、2023年紫苑S(G II)の勝ち馬モリアーナ(牝4歳/美浦・武藤善則厩舎/JRA通算14戦3勝)、2023年デイリー杯クイーンC(G III)の勝ち馬ハーバー(牝4歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算12戦2勝)は、2024年11月15日(金)までに競走馬登録を抹消されました(年齢は抹消時)。ジャスティンミラノは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで種牡馬となり、ドルチェモアは地方・大井競馬へ移籍済み。アイコンテラーは北海道新ひだか町の畠山牧場で、モリアーナとハーバーは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●年度代表馬はライトウォーリア(川崎)、NARグランプリ2024

NARグランプリ2024の年度代表馬は、4歳以上最優秀牡馬も受賞のライトウォーリア(川崎)、2歳最優秀牡馬はソルジャーフィールド(北海道)、3歳最優秀牡馬はサントノーレ(大井)、4歳以上最優秀牝馬はキャリックアリード(大井)、ダートグレード競走特別賞馬にはフォーエバーヤング(JRA)が選ばれました。また、最優秀勝利回数調教師賞は打越勇児調教師(高知)、最優秀賞金取得調教師賞は小久保智調教師(浦和)、最優秀勝利回数騎手賞は森泰斗騎手(船橋、引退)、最優秀賞金取得騎手賞は笹川翼騎手(大井)が受賞しています。

●佐賀若駒賞は牝馬ハクアイアシスト【各地の主要3歳重賞】

佐賀デビュー馬限定戦の佐賀若駒賞(1月5日、佐賀、1750^米)は、9番手から追い上げた2番人気のハクアイアシスト(牝、父パイロ)がゴール寸前で差し切り、初の重賞制覇を果たしています。

●クァンタムウェーブらが参戦、1月22日のブルーバードC(船橋)

ブルーバードC(Jpn III、3歳、1月22日、船橋、1800^米)は、ダート1800^米で2戦2勝のクァンタムウェーブが中心、メルキオルが続き、バリウィール(北海道)、ジュゲムーン(高知)、ウィルオレオール(北海道)までが争覇圏内と考えられ、ミストレスは初のダートが課題となりそうです。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2024年北米競馬統計～イントゥミステーフが6年連続の首位種牡馬

2024年の北米チャンピオンサイアーの座についてのはイントゥミステーフ(2005年生まれ。父ハーランズホリデー)でした。北米ではG1ブリーダーズCジュヴェナイルとG1アメリカンフアラオSを制したシチズンブルを含む4頭がG1を5勝を挙げ、UAEではローレルリバーがG1ドバイワールドCに優勝。これで6年連続6回目の戴冠となりました。6度目の首位は北米では16回のレキシントン(1850年生まれ)、8回のボールドルラー(1954年生まれ)に次ぐ歴代3位(1860年以降)。獲得賞金は自身のレコードを更新する3460万7903^{ドル}(約53億2961万円/1^{ドル}=154円で換算。以下同じ)でした。騎手はF. プラ騎手(32歳)が獲得賞金3727万4176^{ドル}(約57億4022万円)で初の首位。シエラレオーネで制したBCクラシック、モイラのBCフィリー&メアターフなどG1・16勝。重賞56勝は2003年にJ. ペイリー元騎手が記録した55勝を上回る北米最多記録となりました。調教師は、C. ブラウン調教師(46歳)が獲得賞金3086万6710^{ドル}(約47億5347万円)で2年ぶり6度目のチャンピオン(2016～19年、22、24年)。シエラレオーネで制したBCクラシック、ブルーグラスS、カールスパクラーで勝ったフォースターデューH、ターフマイルSなど計15のG1を制しました。